

議会かほく

vol.87
2025. 8. 1

審議された議案など
政務活動費報告
討論
一般質問 (10人)
常任委員会レポート
議会日程・議会組織

2
3
5
7
17
20



新たなメンバーでスタートした市議会
(議会組織は裏表紙)

議員名簿・組織表へ



第87号 発行日／令和7年8月1日 編集／かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <https://www.city.kahoku.lg.jp>
発行／石川県かほく市議会 住所／石川県かほく市宇野気二81番地

Eメール sika@city.kahoku.lg.jp
076 (2600) 7129 FAX 076 (260) 7188

令和7年 第3回かほく市議会定例会のお知らせ (8/26～9/18)

日	月	火	水	木	金	土
		8/26 初日 10:00 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会	27	28 9:00 議会運営委員会	29	30
31	9/1	2 議会運営委員会 10:00 本会議 (一般質問) 広報特別委員会	3 10:00 本会議 (一般質問)	4 9:00 教育福祉常任委員会 教教育福祉分科会	5 9:00 総務建設常任委員会 総務建設分科会	6
7	8	9 9:00 予算決算常任委員会	10 9:00 教育福祉分科会	11 9:00 総務建設分科会	12	13
14	15	16 13:30 予算決算常任委員会 議会運営委員会	17	18 10:00 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会		

新たな議会組織決まる

●予算決算常任委員会(14人)									
橋川 章	高井 篤志	金田 平天	長柄 裕	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 長
坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	塚本 佐和子	中川 康弘	池田 義治	杉本 正一	高橋 成典	坂井 正範	副委員 長
野田 稔彦	坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 員
●教育福祉常任委員会(7人)									
橋川 章	高井 篤志	金田 平天	長柄 裕	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 長
坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	塚本 佐和子	中川 康弘	池田 義治	杉本 正一	高橋 成典	坂井 正範	副委員 長
野田 稔彦	坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 員
●総務建設常任委員会(7人)									
橋川 章	高井 篤志	金田 平天	長柄 裕	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 長
坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	塚本 佐和子	中川 康弘	池田 義治	杉本 正一	高橋 成典	坂井 正範	副委員 長
野田 稔彦	坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 員
●議会運営委員会(6人)									
橋川 章	高井 篤志	金田 平天	長柄 裕	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 長
坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	塚本 佐和子	中川 康弘	池田 義治	杉本 正一	高橋 成典	坂井 正範	副委員 長
野田 稔彦	坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 員
●広域連合議会議員									
金子 猛	坂井 正範	野田 稔彦	坂井 正範	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 長	副委員 長	委員 員
●石川県後期高齢者医療広域連合議会議員									
金子 猛	坂井 正範	野田 稔彦	坂井 正範	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 長	副委員 長	委員 員
●河北都市広域事務組合議会議員(4人)									
橋川 章	高井 篤志	金田 平天	長柄 裕	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 長
坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	塚本 佐和子	中川 康弘	池田 義治	杉本 正一	高橋 成典	坂井 正範	副委員 長
野田 稔彦	坂井 正範	高橋 成典	野田 稔彦	池田 康弘	中川 康弘	竹内 幹雄	杉本 成一	丸井 一範	委員 員

議会を傍聴しませんか？

本会議・常任委員会などを傍聴できます。
議会ではどんなことが議論されているの？
お気軽にお越しください。

傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。
(受付順)

本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」
で生中継・録画を見ることができます。



本会議の傍聴席



常任委員会などの傍聴席

※議会だよりは、国会図書館にも送付、蔵書されています。

※印刷コスト 1部 32円(発行部数 13,100部)

2025. 8. 1

20

臨時会

政務活動費

定例会

一般質問

常任委員会

議会組織

政務活動費の収支を公開します

政務活動費（令和6年4月～令和7年3月分）収支一覧（単位：円）									
議員氏名	令和6年度 交付決定額	支出総額	支出内訳						返還額
			調査 研究費	研修費	広報費	要請・陳情 活動費	資料 作成費	資料 購入費	
長柄 裕	240,000	137,430	26,280	3,000	0	52,440	0	55,710	102,570
池田 義治	240,000	325,389	19,680	123,660	0	52,270	6,879	122,900	0
中川 康弘	240,000	258,831	0	126,260	330	52,440	15,931	63,870	0
野田 稔彦	240,000	281,075	0	121,260	0	52,440	6,975	100,400	0
大西 潤	240,000	188,911	21,708	8,000	12,636	52,440	4,227	89,900	51,089
丸井 一範	240,000	228,471	48,576	8,000	0	52,440	17,855	101,600	11,529
金子 猛	240,000	204,570	36,420	118,260	0	0	1,990	47,900	35,430
坂井 正毅	240,000	166,837	56,820	8,000	0	47,440	6,677	47,900	73,163
高橋 成典	240,000	496,989	0	0	405,607	0	27,519	63,863	0
杉本 正一	240,000	305,768	0	126,260	0	52,440	0	127,068	0
竹内 幹雄	240,000	291,760	0	126,260	0	52,440	0	113,060	0
杉本 成一	240,000	145,030	0	8,000	0	38,130	0	98,900	94,970
寺内 照雄	240,000	50,300	0	0	0	0	48,300	2,000	189,700
猪村 博靖	240,000	242,265	0	94,420	0	17,420	5,617	124,808	0

各議員が参加した研修会の内容や資料として購入した書籍名など、支出の詳細を記載した「政務活動報告書」を、市のホームページで公開しています。



◆政務活動費を充てることができる経費の範囲

- 調査研究費 …… 議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- 研修費 …… 議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
- 広報費 …… 議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
- 要請・陳情活動費 …… 議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費
- 資料作成費 …… 議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
- 資料購入費 …… 議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費

「政務活動費」って？

地方自治法に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもので、かほく市では、議員1人につき年24万円（月額2万円）を交付しています。



にゃんたろう



左から竹内議員、杉本議員、高橋議員

6月20日の定例会本会議の席上において、これらの表彰状および感謝状の伝達を行いました。

贈呈されました。

全国市議会議長会および北信越市議会議長会より、高橋成典議員は永年勤続30年、竹内幹雄議員は同25年の表彰を受けました。また、全国市議会議長会の役員としての功績により、杉本成一議員には同会から感謝状が贈呈されました。

2人に永年勤続表彰
1人に感謝状

令和7年 第1回 臨時会

令和7年5月9日、第1回臨時会を開催し、議会組織を決め、市税条例の一部を改正する条例に係る専決処分など5議案について審議し、原案の通り承認・可決した。
また、議員提出議案1件についても原案の通り可決した。

第14代正副議長決まる

議長に金子猛氏、副議長に野田稔彦氏



議長
金子 猛

議員各位のご賛同を得て、議長職を拝命しました。その重責を痛感し、身の引き締まる思いです。
これからは、歴代の議長や議員の皆様の努力や想いをしっかりと受け継ぎ、市民福祉の向上と安心安全なまちづくりに全力で取り組んでまいります。
議会として市民の皆様信頼されるよう努め、市長をはじめとする執行部とも連携し、市の発展に尽力します。



副議長
野田 稔彦

議長より指名推薦いただき、議員各位のご賛同を得て、副議長に就任いたしました。
副議長として、議長をしっかりと補佐し、10年連続で人口が増加しているかほく市のさらなる発展を盤石なものとし、震災からの復興に全力を尽くしてまいる所存です。
今後とも皆様のご期待に応えられるよう職務に励んでまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

※議会組織については、20ページに掲載しています。

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案〕

議案番号	議 案 名 等	委員会 付託先	議決結果
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて （令和6年度かほく市一般会計補正予算（第11号））	予算決算	原案承認 （全会一致）
議案番号	議 案 名 等	上 程 議決日	議決結果
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて （かほく市税条例の一部を改正する条例について）	5月9日	原案承認 （全会一致）
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて （かほく市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について）		
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて （かほく市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について）		
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて （かほく市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について）		

〔市長提出議案（人事）〕

議案番号	議 案 名 等	上 程 議決日	議決結果
同意第6号	かほく市監査委員の選任につき同意を求めることについて ・議会議員のうちから選任すべき監査委員として、坂井正毅氏を選任するもの	5月9日	原案同意 （全会一致）

〔議員提出議案〕

発議番号	議 案 名 等	上 程 議決日	議決結果
発議第5号	かほく市議会広報特別委員会設置に関する決議について	5月9日	原案可決 （全会一致）

議決結果で賛否が分かれた案件

請願番号	議案名等	議員名（議席番号順）															
		橋川章	高井篤志	金田平夫	長柄裕	池田義治	中川康弘	塚本和子	野田稔彦	丸井一範	金子猛	坂井正毅	高橋成典	杉本正一	竹内幹雄	杉本成一	
請願第5号	消費税減税を求める意見書の採択を求める請願	×	○	○	×	×	×	○	×	×	—	×	○	×	×	×	

※ ○＝賛成 ×＝反対 欠＝欠席 退＝退席 金子議員は議長職のため採決には加わりません。

討論

請願に対して討論

食料品、光熱水費、衣服など、あらゆるものの価格が上がっている今、毎日の買い物にかかる消費税の負担を減らすことは、最も力強く、効果的な暮らしの応援です。消費税減税は待ったなしです。今、消費税の減税を求める国民の声が一段と大きく広がり、重要な政治課題です。消費税5%への減税には15兆円規模の財源が必要です。23年度1兆円余もの減税となった大企業優遇税制をやめ、所得が1億円を超えると税の負担率が下がる「1億円の壁」の是正、軍事費の無駄の削減、政党助成金の廃止などで20兆円超の財源が確保できます。

①消費税率を緊急に5%以下に下げること。②インボイス制度を廃止すること。

高橋 成典

「消費税減税を求める請願」に賛成。財源は大企業優遇税制の廃止で

杉本 正一

消費税減税の請願に反対。減税は高所得者ほど恩恵が大きくなる

金田 平夫

現在、参議院選挙を前に、消費税率を一時的に引き下げる政策が複数の政党から提案されているが、過去の海外事例では、減税前後に買い控えや買いだめが起き、経済に混乱を招いたと報告されている。

また、税率を下げてでも価格に反映されず、消費者が恩恵を感じにくいケースもある。

さらに、消費税は消費額に比例するため、高額商品を購入する高所得者ほど減税の恩恵が大きくなる点も問題である。

今、本堂に必要なのは、物価高に苦しむ方々への的確な支援である。限られた財源は、介護現場の処遇改善や老朽化した公共インフラの整備に充てるべきだと考え、消費税減税を求める請願には反対する。

私は「積極財政と減税による国民への投資が重要かつ必要」と主張する党派に共感する。以上により、消費税減税を求める請願に賛成する。

令和7年第2回定例会

会期／6月9日～6月26日

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案〕

番号	議 案 名 等	委員会 付託先	議決結果
議案第39号	令和7年度かほく市一般会計補正予算（第1号）	予算決算	原案可決 （全会一致）
議案第40号	令和7年度かほく市下水道事業会計補正予算（第1号）		
議案第41号	かほく市少年愛護センター条例の一部を改正する条例について	教育福祉	
議案第42号	財産の取得について（福祉巡回バス自動車）	－	
議案第43号	市道の路線認定について	総務建設	
議案第44号	市道の路線認定について		
議案第45号	令和7年度かほく市一般会計補正予算（第2号）	予算決算	
議案第46号	工事請負変更契約の締結について （6災4551号市道長柄町1号線道路災害復旧工事）	－	
議案第47号	財産の取得について（高規格救急自動車）	－	

〔市長提出議案（人事）〕

番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
同意第7号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（今本重蔵氏を引き続き任命するもの）	—	原案同意 （全会一致）
同意第8号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（高橋恵子氏を引き続き任命するもの）	—	
同意第9号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（油野茂樹氏を引き続き任命するもの）	—	
同意第10号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（松本正博氏を新たに任命するもの）	—	
同意第11号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（吉多力氏を新たに任命するもの）	—	
同意第12号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（森内順二氏を新たに任命するもの）	—	
同意第13号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（長原克信氏を引き続き任命するもの）	—	
同意第14号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（松本多美子氏を引き続き任命するもの）	—	
同意第15号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（村井一宏氏を引き続き任命するもの）	—	
同意第16号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（田端いずみ氏を新たに任命するもの）	—	
同意第17号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（竹中浩記氏を新たに任命するもの）	—	
同意第18号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（竹田尋平氏を引き続き任命するもの）	—	
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（新田芳昭氏を新たに推薦するもの）	—	原案適任 （全会一致）

〔請願〕

番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
請願第5号	消費税減税を求める意見書の採択を求める請願	総務建設	不採択 （賛成少数）

※議案及び請願の主な審査内容については、17ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

一般質問

議会映像へ



塚本 佐和子

Q 政府は能登半島地震に関し、総額1068億円の予備費使用を閣議決定し、その中で「能登創造的復興支援交付金」として500億円を新設。本市には約8億5000万円が交付される。県からの通達では、交付金の使い道は「住宅支援に重点を置くこと」「創造的であること」「公平性であること」が記されている。それを踏まえ、市内の住宅被害があった準半壊や一部損壊の判定を受けた方々に住宅支援の考えはないか。

A 市長 準半壊、一部損壊の判定となった住宅支援は、能登のいくつかの市町ですすでに支援制度を設けており、七尾市では交付金を活用して独自の支援

臨時会

政務活動費

定例会

高松小学校で
キャリア教育講座
7月9日

令和7年7月9日、高松小学校の6年生を対象に行われたキャリア教育講話に、竹内議員、坂井議員、長柄議員、金田議員の4名が講師として参加しました。この授業は、子どもたちが将来の職業について考えるきっかけづくりとして行われており、地域で働く大人が仕事や経験について紹介するものです。

当日は、議員のほかには保育士、料理職人、パティシエ、イラストレーターの方々も参加されました。

議員からは、「市議会議員の仕事」「市長・議員・市民の関係」「議会の仕組み」などを、できるだけわかりやすく説明し、議員になったきっかけや日々の活動、やりがいについてもお話しました。

児童の皆さんからは「議員

になって大変なことや辛いことは？」「選挙で大切にしていることは？」「年齢に上限はある？」「高齢を理由に辞めさせられることは？」「予算はなくなる」とがある？」などの質問が寄せられ、子どもたちの鋭い問いかけに、私たちも身の引き締まる思いがしました。

今後も、未来を担う子どもたちが地域や政治に関心を持つきっかけとなるよう、こうした活動に積極的に取り組んでまいります。



議員の仕事や思いを伝えました

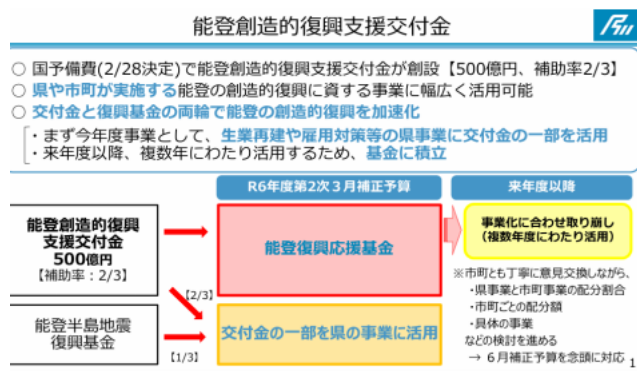
質問 1

能登創造的復興支援交付金の活用は
住宅再建支援制度を詰めている

制度を創設すると聞いている。

本市においては被災された方への支援を念頭におき、準半壊、一部損壊の住宅再建の支援制度の詳細を詰めている。

また、避難所設備の充実、防災対策基盤の強化にも、交付金の活用を検討している。



能登創造的復興交付金資料

質問 2

移動支援制度の現状と課題は

ヘルパー不足が課題
体制の見直しとサービス
充実に努める

Q 移動支援は、障がいのある人の地域生活を支えるサービスで、本市では月40時間が上限だが、利用者は平均17名・6時間にとどまっている。事業所やヘルパー不足が原因と思われるが、現状と課題は。

A 健康福祉部長 市内で移動支援サービスを提供している事業所は2カ所、県内では24カ所あり、本市との契約に基づいて事業を実施している。

利用希望者は相談支援専門員や健康福祉課に相談するが、事



障がい者が社会参加しやすいように

業所の空き状況により希望日時に利用できない場合もある。

その際は、相談専門員が他の事業所と調整し対応している。

全国的なヘルパー不足も課題であり、移動支援を含む地域生活支援体制の見直しが必要と認識している。今後は利用者ニーズを把握し、必要なサービスの提供に努めていく。

一般質問
あなたの声を市政に

各ページの「二次元バーコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧になれます。

※機種によりご利用いただけない場合があります。
※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。
※動画の保存期間は、概ね1年間です。

ページ	質問事項	質問者
7	能登創造的復興支援交付金の活用は ほか	塚本佐和子
8	投票率を上げる取り組みを示せ ほか	中川 康弘
9	大崎地区以外の再液化化対策の取り組みは ほか	橋川 章
10	新教育長に教育行政についての決意を問う	杉本 成一
11	大崎地区の液化化対策の実証実験を問う ほか	野田 稔彦
12	A1バス「のるーと」を導入せよ ほか	丸井 一範
13	かほく市観光施策と将来ビジョンは ほか	高井 篤志
14	消防団員の確保策とバス広告は ほか	長柄 裕
15	被爆80周年、核兵器廃絶の取り組みは ほか	高橋 成典
16	安心して搾乳できる環境を整備せよ ほか	池田 義治

一般質問

常任委員会

議会組織



あきら かわ 橋

質問 1

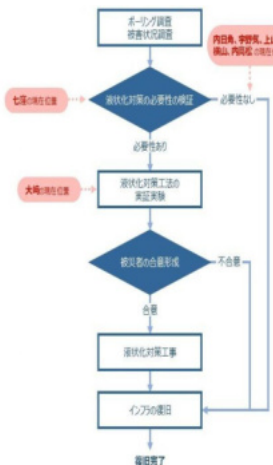
大崎地区以外の再液状化対策の取り組みは
七窪地区で再液状化対策に取り組む

Q 甚大な被害を受けた大崎では国の支援もあり再液状化防止など復興に向けた動きが見られるが、内口角、宇野気、上山田、七窪、横山、内高松の液状化被害について、これまでの調査・検証状況と今後の市の再液状化防止対策の進め方を示せ。

A 市長 液状化判定調査は、大崎と同様の検討条件に基づき、現地でのボーリング調査や既存の土質調査資料の分析を行い、再液状化の判定を行った。

その結果、七窪と内高松については、能登半島地震と同規模の地震が発生した場合に再液状化の恐れが高く、防止対策が必要とされた。

七窪では、今年度中に再液状



復旧対策フローと進捗状況

質問 2

補助金の代理受領制度を導入せよ

代理受領制度や補助金の概算払いに柔軟に対応

Q 被災した宅地の復旧に関しての地盤改良や傾斜修復に要する費用は、高額な工事代金になり、一時的とは言え高額な工事代金を調達する必要がある。

A 市長 中には資金調達が難しく、宅地の復旧に二の足を踏んでいる方もおられるように聞いている。

被災宅地等復旧支援事業の実施にあたり、被災者の経済的な負担軽減策として、市が補助金を修繕業者に直接支払う代理受領制度を導入することができないか。

液状化被害を受けた宅地の復旧・住宅の傾斜修復等への支援			
○ 液状化等により被害を受けた宅地や住宅の復旧のため、所有者が実施する、宅地の復旧や住宅の耐震化を支援する補助制度を創設			
宅地	住宅	住宅	住宅
補助額：最大958.3万円 (補助率：最大100%)	補助額：最大280万円 (補助率：最大100%)	補助額：最大280万円 (補助率：最大100%)	補助額：最大280万円 (補助率：最大100%)
対象者 市 町 村 区 所有主 市 町 村 区 所有主	対象者 市 町 村 区 所有主 市 町 村 区 所有主	対象者 市 町 村 区 所有主 市 町 村 区 所有主	対象者 市 町 村 区 所有主 市 町 村 区 所有主
補助内容 （仮設仮設22の少額工事相当を控除） 傾斜、地盤、宅地のり面等の復旧、 住宅の地盤改良、傾斜修復 など	補助内容 （仮設仮設22の少額工事相当を控除） 傾斜、地盤、宅地のり面等の復旧、 住宅の地盤改良、傾斜修復 など	補助内容 （仮設仮設22の少額工事相当を控除） 傾斜、地盤、宅地のり面等の復旧、 住宅の地盤改良、傾斜修復 など	補助内容 （仮設仮設22の少額工事相当を控除） 傾斜、地盤、宅地のり面等の復旧、 住宅の地盤改良、傾斜修復 など

被害を受けた宅地の復旧支援



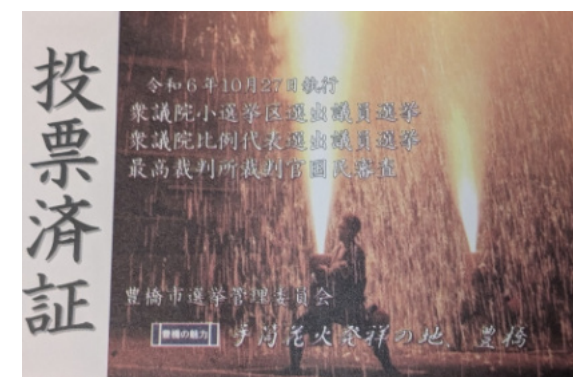
あきら かわ 橋

質問 1

投票率を上げる取り組みを示せ
選挙広報紙での周知や啓発に取り組んでいる

Q 選挙は、政治の基本であり、民主主義社会を築くために選挙の投票率を高めることは、大切である。

A 総務部長 投票率向上に向け、広報かほく、ホームページ、懸垂幕や選挙広報紙などを使い



県外自治体で発行の投票証明書

周知を図っている。また、若年層を対象に県立看護大学での選挙ブースの設置や中学生を対象に模擬投票体験など行っている。

Q 国内では、原材料や資源価格の上昇で起こるインフレで物価高騰が続いている。

A 市長 かほく市商工会プレミアム付商品券は、4回発行し、



過去のプレミアム付商品券のチラシ

財源は全額国費を充当している。1回当たりの所要額は、億単位となっており、現時点では、全世帯対象の経済対策は、多額の財源が必要であるため、市独自の財源での対応は困難である。

一般質問

議会映像へ



野 達 穂彦

Q 大崎地区の液状化対策における地下水位低下工法の実証実験について地盤沈下や周辺の井戸水への影響や今後のスケジュール、内灘町との情報共有や連携について問う。

A 市長 既存の井戸を含めた地下水位の変動観測など、調査・解析し、今後の対策工事に反映して行く。

約1年間の観測期間を見込んでおり、最短で令和9年度にも液状化防止対策工事に着手できる予定。

また内灘町とは、被害状況等も類似し、一体的に再液状化防止対策の検討が行われており、検討過程において常に内灘町と連携し、情報共有を図ってきた。

一般質問

議会映像へ



杉 せい 成

Q 就任後1ヶ月余りが経過したが、教育長としての感想は。

A 教育長 教育長となつて、これまでの教壇に立っていた学校教育とは全く別次元の様々な課題にふれる機会が続いている。市内全小中学校の指導・管理面に加え、生涯学習、スポーツ文化活動など、所管する領域幅の広さを実感している。

教育行政の長として、一步誠実に、諸課題に向き合い、そこで学ぶ子どもたちを「真ん中」に置いた教育を充実させることが、私の一番の務めだと思っている。

質問 1

大崎地区の液状化対策の実証実験を問う 関係機関と連携し迅速丁寧に対応する

質問 2

住宅耐震化制度の改正があるのか

補助限度額を280万円に引き上げる

Q 住宅耐震化について、県の制度改正にあわせて、拡充する予定があるのか。

A 市長 昨年7月に、制度の拡充を行い、昭和56年以降の新



住宅耐震化制度の拡充

耐震基準で建築された住宅についても補助対象に加えるとともに、補助限度額を従前の150万円から最大250万円に引き上げた。

県の制度改正にあわせ、市負担分についても、補助限度額を280万円に引き上げる。

質問 3

タンクローリーの通行に伴う交通安全対策の強化を問う

交通安全施設の設置を特例的に対応する

Q 内日角区内の住宅地が立ち並ぶ地域に地元住民との合意形成が十分なまま、危険物貯蔵施設が設置された。この施設はタンクローリーからの供給となり、隣接の公園や通学路におい



交通安全対策が望まれる
内日角区内交差点

質問 1

新教育長に教育行政についての決意を問う

子どもを『真ん中』に置いた教育を充実させる



決意を述べる井上教育長

Q 本市の教育行政について、現状の認識をどのように感じているのか。

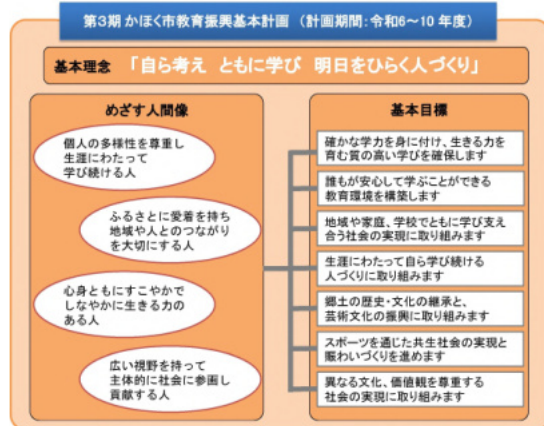
A 学校教育では、主体的に学ぼうとする授業づくりに課題があり、部活動の地域移行の地域展開については、単独校でチームが組めない現状や、教員の働き方を踏まえると喫緊の課題である。

生涯学習、スポーツ、文化活動を通した活性化、郷土の歴史や芸術文化の振興、姉妹都市交流の推進、哲学館の情報発信など課題は山積しているが、着実に歩みを進める。

Q 教育長の思い描く市の教育理念・教育方針はどのようなものか。

A 「教育の基盤は人づくり」だと思っている。それを成し遂げるため、第3期かほく市教育振興基本計画に掲げる7つの基本目標の達成を目指していく。

特に、子どもたちの健やかな成長のため、学校のかじ取りを行う校長に対し、教育委員会としてのビジョンを示しながら、子どもを真ん中に置いた学校経営をしっかりとサポートしていく。



7つの基本目標の達成を目指す

また、地域の教育力の向上のため、地域の方々に、子どもたちを支える応援団になってもらい、地域ぐるみで子どもたちの成長を支えていこうとする風土を醸成していきたい。

全ての子どもたちが、健やかに成長を続け、それを地域の教育力が下支えする教育が私の理想である。

議会映像へ

まるい かずのり
丸井 一範

Q 昨今、移動手段の確保が喫緊の課題となっている中、全国の自治体では、AIによるルート最適化を活用したオンデマンド交通「のるーと」の導入が進んでいる。

導入の是非について聞く。

A 市長 「のるーと」については、住民の移動手段として多くの方に利用され成果を上げていくと聞く。

AIオンデマンド交通の導入については、今後の地域公共交通の将来像を検討していく上で必要なものと認識をしている。

先行導入した自治体の取組を参考としながら、本市の実情を踏まえ、導入について調査研究を行っていく。

質問 1

Aーバス「のるーと」を導入せよ

導入に向け調査研究を行っていく



津幡町のA Iバス「のるーと」

A 教育長 ①全ての小中学校の普通教室及び特別教室にエアコンを設置した。

また、今年度は小学校の体育館の設備を完了する。

児童生徒については、各自で水筒を持参、学校では窓を開けての換気や廊下などに設置した送風機により常に空気を循環させている。また、通学時に日傘も奨励している。

②かほく市立学校教職員多忙化改善取組方針を策定し、教職員の時間外勤務及び多忙化改善に取り組んでいる。

資質向上については、ICT（情報通信技術）も含め取り組み。

③全ての小中学校で、SNSに関する授業を行っているほか、



サイバーいじめの対策を

PTA連合会、校長会と連携し、かほく市ネットルール共同宣言、少年愛護センターによるネットパトロールも実施している。

④スポーツ協会と連携を図り、トップアスリートの育成に努めている。また、スポーツコミッションかほくと連携し、スポーツによるにぎわいづくりも展開している。

各学校はもとより、家庭及び関係団体と連携し、取り組む。

質問 2

学校教育について教育長の思いを聞く

学校、家庭、各種団体と連携し取り組む

Q ①熱中症対策について

②教員の資質向上と働き方改革について

③SNSによるいじめについて

④スポーツの振興とトップアスリートの育成について聞く。

議会映像へ

たかい あつし
高井 篤志

質問 1

かほく市の観光施策と将来ビジョンは

地域資源を活かして観光の魅力を発信する

質問 2

スタートアップ支援・企業誘致施策は

創業と企業誘致の両輪で地域経済を活性化

Q 市内での雇用機会創出を通じて経済活性化に向けて、スタートアップ支援や企業誘致の現状と今後の展望について聞く。

A 市長 若者や女性向けの創業補助金と空き家活用補助金を統合し、「ビジネスインベシヨ

ン補助金」を創設することで、起業しやすい環境づくりを進めている。企業誘致では、助成制度やインフラ整備、手続き支援などを通じて、雇用の確保や地元企業の成長を後押ししている。

今後も、若年層の人口増を見据えながら、積極的に支援していく方針である。

質問 3

市内特別支援学級の現状と支援員増員の必要性は

Q 市内の小中学校の特別支援学級の現状と、今後の支援員増員の必要性について見解を伺う。

A 教育長 市内には特別支援学級が23学級あり、計88名が在籍。各学級に1名の教職員が配置されている。

令和元年度から支援が必要な児童生徒は現在約3倍に増加しており、今年度は市独自に支援員を25名増員している。近隣自治体と比べても高い水準にある。

今後も学校のニーズや教職員の働き方を踏まえ、必要に応じて人員体制の見直しや資質向上を進めていく。



支援員の拡充を

一般質問

A 地域政策部長 西田幾多郎 記念哲学館の「音楽夜市」や四季まつり、SVリーグの試合、道の駅高松での地域産品販売など、さまざまなイベントを通じてにぎわいの創出を進めている。

現在のところ、フラワーガーデンのような新たな整備計画はないが、民間の提案には柔軟に対応していく。

今後は、民間と連携しながら、新たな観光誘客によるにぎわいの創出に取り組んでいく。



市内就労で通勤コストの削減を

ながい ゆたか
市長 祐太

Q 現在のかほく市消防団の実員数は。

A 消防長 現在のかほく市消防団の実員数は、条例定数190人に対し、令和7年6月1日時点で169人（充足率は89%）

Q 入団促進のための広報・PR活動は。

A ホームページや広報紙などへの掲載、消防団員による地域での募集活動に加え、令和6年7月には消防団女性部を新たに創設した。SNSを活用し団員紹介・日頃の活動など積極的に情報発信を行う。

Q 市内巡回バスに消防団員募集のラッピング広告はどうか。

A 消防団員確保に向け、今後、

質問 1

消防団員の確保策とバス広告は

多様な広報を実施中で、バス広告も検討



河北都市消防団連合訓練の様子

消防団及び関係機関と協議し、市内巡回バスにおける広報について検討していく。

質問 2

地籍調査の進捗と登記の遅れは

高松地区は35%進捗、登記までには約5年を要する

Q 旧高松地区の地籍調査の状況は。

A 市長 進捗状況について、

旧七塚町は100%完了、旧高松町は約35%、旧宇ノ気町は約34%である。

高松地区の一部や八野地区、大海財産区は調査済みで、現在は長柄町地区と二ツ屋地区を調査中である。

しかし、高松地区の一部では、長期間にわたって調査が休止し、その中でも戦後の農地解放により、公図と現地が著しく異なっている箇所があり、その調整が難航し、地権者の同意が得られなかった。

現在、休止地区においては順次再調査を実施しているが、近年の測量技術の進歩により、当時と測量方法が大きく変わっており、改めて現地での境界立会いから調査をやり直している。



土地の境界の確認

Q 調査開始から登記完了までの期間は。

A 直近の調査区では、調査完了から登記までに約5年を要している。

Q 全調査終了までの期間は。

A 通常、宅地部分のみの調査であれば10～15年程度で完了するが、現状ではそれ以上かかる可能性もある。

一般質問

たかはし しげのり
市長 成典

Q 被爆80周年にあたり、核兵器廃絶の取り組みは。

A 市長 平成17年に世界の恒久平和を願い、核兵器の全面禁止および廃絶を目指す「平和都市宣言」を行っている。

改めて核兵器廃絶の宣言や表示物の設置は考えていない。

質問 2

高齢者タクシー制度の拡充を

制度改正が必要なら検討

Q 高齢者タクシー制度を拡充せよ。

A 健康福祉部長 利用実態を踏まえ、必要に応じて制度の見直しを検討する。

また、デマンドバスなど公共交通全体で取り組んでいく。

質問 1

被爆80周年、核兵器廃絶の取り組みは

核兵器廃絶宣言の表示物設置は考えていない



高松駅のタクシー

A 市長 先進例を参考に、部分耐震化のような新しい耐震改修補助制度の検討を進めている。命を守る視点から前向きに取り組む。

A 地域政策部長 感震ブレーカーへの助成制度は、石川県県の助成制度の内容を確認し、県内自治体の動向も注視して検討する。

質問 3

耐震改修補助、感震ブレーカーの助成を

市としても検討する

Q 耐震改修補助の拡充、感震ブレーカーへの助成制度を。



地震で被災した家屋

質問 4

有機フッ素化合物の汚染調査を

PFASは検出なし

Q 発がん性が疑われる有機フッ素化合物（PFAS*）の汚染調査の結果は。

A 産業建設部長 市では令和5年度に上水道の取水井戸の一部を自主的に検査した。

また、令和6年度と令和7年5月にも全12カ所の取水井戸を検査し、国の暫定目標値を超えるPFASは検出されなかった。

* PFAS 人工的な化学物質。数千から1万種類以上ある。分解されにくい、永遠の化学物質と呼ばれ、フライパンなどのフッ素樹脂加工や半導体製造、泡消火器材などに使われ、人体や土壌などに長期間残留する。



議会映像へ



池田 義治

一般質問

Q 搾乳したい方が安心して利用できる環境を。

また、搾乳の必要性や授乳室で搾乳することの理解が広がるよう情報発信を。

A 市長 現在設置されている授乳室の表記に加え、搾乳室と併記したい。

ホームページなどを活用し、市内事業者にも、搾乳の必要性や搾乳室の設置推進に向けた周知を行うなど、情報発信を行っていく。



搾乳室の表示

STEAM教育をどう考えるか
これからの時代に必要な学びであると認識
Q STEAM教育をどう捉えるのか
A 教育長 STEAM教育は、科学、技術、工学、芸術、数学の分野を組み合わせ、楽しく学びながら、未来に必要な力を育てる教育と捉えている。これからの時代にますます必要な学びであると認識している。
児童生徒が自ら課題を発見し、試行錯誤を繰り返しながら答えを導く、そういった力がつくよう、総合的な学習の時間の充実、発展に努める。

質問2
STEAM教育をどう考えるか
これからの時代に必要な学びであると認識
Q STEAM教育をどう捉えるのか
A 教育長 STEAM教育は、科学、技術、工学、芸術、数学の分野を組み合わせ、楽しく学びながら、未来に必要な力を育てる教育と捉えている。これからの時代にますます必要な学びであると認識している。
児童生徒が自ら課題を発見し、試行錯誤を繰り返しながら答えを導く、そういった力がつくよう、総合的な学習の時間の充実、発展に努める。

また新しい制度であり、現時点では導入には慎重な検討が必要と考えている。
今後、導入している自治体の取組状況や効果を参考に、現場の意見や国・県の動向も踏まえ検討していく。

ラーケーション

ラーニング(学習)+バケーション(休暇)



ラーケーションの導入を

安心して搾乳できる環境を整備せよ

授乳室の表記に搾乳室を併記する

質問2

STEAM教育をどう考えるか
これからの時代に必要な学びであると認識
Q STEAM教育をどう捉えるのか
A 教育長 STEAM教育は、科学、技術、工学、芸術、数学の分野を組み合わせ、楽しく学びながら、未来に必要な力を育てる教育と捉えている。これからの時代にますます必要な学びであると認識している。
児童生徒が自ら課題を発見し、試行錯誤を繰り返しながら答えを導く、そういった力がつくよう、総合的な学習の時間の充実、発展に努める。

質問3

ラーケーションの日の導入を検討せよ
解消すべき課題が多い
Q ラーケーションとは、学習(ラーニング)と休暇(バケーション)を組み合わせた制度で、平日に親子で校外学習を行っても学校の欠席扱いにならない仕組みである。
体験学習などを通じて親子の時間や多様な学びの機会を確保でき、子育て支援にもつながる。導入を検討すべきではないか。

A 教育部長 ラーケーションは、子どもの主体的な学びと家族の時間の両立が期待できる一方で、教育課程や授業時間の確保、家庭間の格差、学校現場の事務負担など多くの課題がある。

総務建設常任委員会

市道高松173号線・174号線を認定

おもな審査内容

◎市道の路線認定

高松市古宮町地内における民間の宅地造成事業において築造した道路を市道高松173号線として、新たに認定するもの。

また、高松南新町地内の民間宅地造成事業において築造した位置指定道路の市道編入申請により、市道高松174号線として、新たに認定するもの。

高橋委員

高松地区の民間開発地の分譲価格は現在の程度か。

都市建設課長

令和6年5月末時点で、坪単価は約14万円。全18区画中、自社建売分を含め5区画が契約済

みと聞いている。

◎消費税減税を求める意見書の採択を求める請願

消費税を緊急に5%以下に引き下げ、インボイス制度を直ちに廃止を求めるもの。

高井委員

市民の生活が苦しく、減税は有効。課題があっても市民の声にこたえるべき。

野田委員

減税より一時金のほうが効果的。全体の減税は必要ない。

総務建設常任委員会

委員長 池田 義治
副委員長 杉本 正一
委員 高橋 成典
坂井 正毅
野田 稔彦
長柄 裕
高井 篤志

教育福祉常任委員会

市少年愛護センターを移転

おもな審査内容

◎市少年愛護センター条例の一部改正

旧北國銀行宇野気支店における教育庁舎の整備が完了し、教育委員会事務局を移転することに伴い、現在、かほく市役所内に設置している、かほく市少年愛護センターの住所を変更するもの。

橋川委員

少年愛護センターはどのような活動をしているのか。

生涯学習課長

少年愛護センターでは、教育長を所長とし、少年愛護指導員と地域の委員が連携して活動。ネットトラブル対策として警察

と協力したネットパトロールや、広報紙の発行、夏休み中の夜間巡回などを通じて、子どもの非行防止や健全育成に取り組んでいる。

橋川委員

センター移転で本庁や地域との連携に支障はないか。

生涯学習課長

移転後も、現在と同様に地域全体での見守り活動や関係機関との連携は維持でき、支障はないと考えている。

教育福祉常任委員会

委員長 中川 康弘
副委員長 竹内 幹雄
委員 杉本 成一
丸井 一範
塚本 佐和子
金田 平夫
橋川 章

常任委員会レポート

予算決算常任委員会

議会定例会初日の6月9日に説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で行い、6月24日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

総務建設分科会

6月19日開催

おもな質疑

高橋委員

地方債の借入れ金利の実績は。

財政課長

今年5月の借入れで1・22％

1・3％程度。今後は金利上昇

の可能性もある。

坂井委員

消雪施設は、毎年何箇所くら

い改修しているのか。

都市建設課長

老朽化が著しい箇所や不具合のあった箇所を順次改修している。年数や稼働状況を見ながら交付金を使って対応している。

長柄委員

3つの河川のしゅんせつはど

う選定するのか。

都市建設課長

千歩川・多田川は被害対応、

旧宇ノ気川は定期計画で実施。

高橋委員

雨水管の調査はどのように行

うのか。

上下水道課長

人が管に入り目視で調査する。

異常があれば修繕、報告まで実

施する。

杉本正一分科副会長

目視以外の技術（衛星調査）

も使うのか。

総務建設分科会

余地地区の合併浄化槽を取り替え

教育福祉分科会

新たに宇ノ気学童保育クラブを整備

上下水道課長

今回は目視による調査のみ。

新技術の導入は今後検討する。

高橋委員

余地地区の合併処理浄化槽の

取替は市が対応するのか。地元

負担は。

上下水道課長

移管済の世帯は市が取替し地

元負担はない。利用料金は個人

負担となる。未移管も移管後は

同様。



合併処理浄化槽の取り替え

令和7年度一般会計補正予算（第1号）

総務建設分科会 審査案件	
内容	主な内容
・雨水管路の緊急調査業務 ・余地地区の合併浄化槽の取替工事	・高松古宮町会及び下山田区の祭礼用具の整備事業 ・公費解体に係る関係経費 ・道路の改良や河川の改修事業、公園の施設改修事業 ・七津地区の再液化化対策工法の検討委託料 など

令和7年度水道事業会計補正予算（第1号）

子ども家庭課長

2階建てを計画しており、少

し広くなるが、定員はほぼ同規

模の140人程度である。

橋川委員

宇ノ気学童保育クラブの整備

により緑地はどうなるのか。

子ども家庭課長

現在の緑地は全てなくなる。

塚本委員

こども食堂を新設したいとの

話があるが、場所の相談には応

じてもらえるのか。

子ども家庭課長

公民館の利用は難しい面もあ

るが、他市の事例紹介や助成の

相談などには応じられる。

丸井委員

こども食堂への助成後の監査

や衛生面の確認は。

子ども家庭課長

開設時に保健所の手続は確認

しているが、市の定期監査はな

い。ただし助成時に実績報告を

受け、連絡を取り合っている。

金田委員

高松グランドゴルフ場のふ

どう棚を藤に替えられないか。

教育部長

今は伐採後の植樹計画はない。

予算決算常任委員会

委員長 丸井 一範

副委員長 杉本 成一

委員 議長を除く12名

令和7年度一般会計補正予算（第1号）

教育福祉分科会 審査案件	
主な内容	
・定額減税補足給付金の追加分 ・宇ノ気学童保育クラブの新設 ・宇ノ気保健福祉センターの照明のLED化や施設の改修 ・大海、宇ノ気小学校の体育館空調工事に伴う断熱工事の追加 ・外口角、宇ノ気小学校の教室などを増設する設計費 ・こども食堂応援助成金の追加 ・高松グランドゴルフ場ぶどう棚改築工事費 など	

常任委員会レポート

教育福祉分科会

6月20日開催

おもな質疑

丸井委員

外口角小の理科室を仮設にす

る理由は。

学校教育課長

校舎内に整備する場所がなく、

中庭に理科室を仮設として建て

る計画である。

丸井委員

将来的に常設の理科室を整備

する計画は。

学校教育課長

仮設は2年間の許可期間であ

り、その間に常設の理科室を計

塚本委員

高松中の学力向上プログラム

はどんな内容か。

学校教育課長

生徒一人ひとりの個性に応じ

た最適な学びと協働的学びを3



新・宇ノ気学童保育クラブのイメージ図